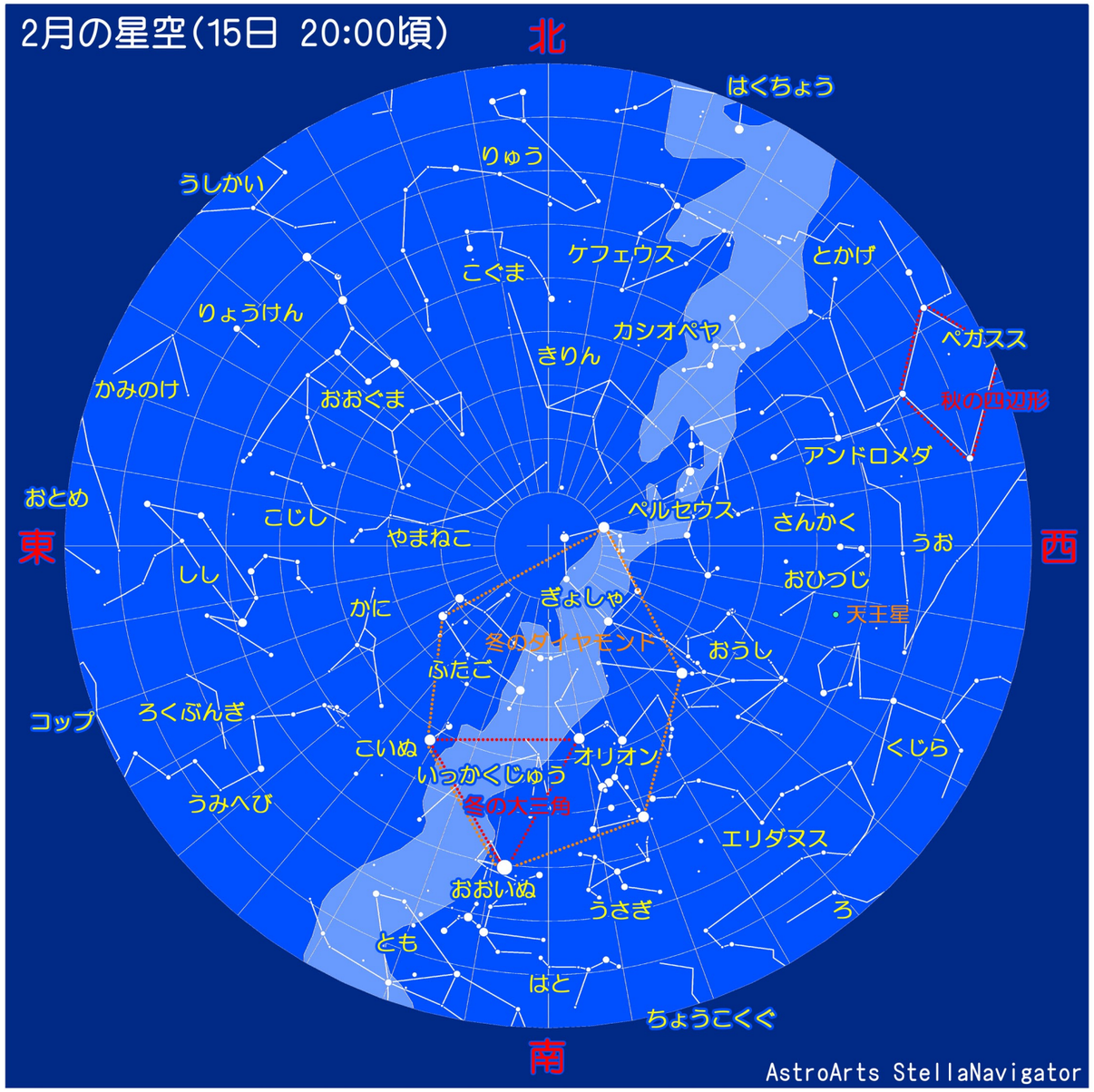
銀河の森天文台
2022年2月みどころ天体情報



今月のイチオシ！
☆シリウス（恒星）

おおいぬ座のシリウスは夜空に輝く恒星の中で一番明るい星です。シリウスは実視連星で、望遠鏡で見ると明るく輝く主星のシリウスＡのそばに、寄り添うように伴星のシリウスＢが見えることがあります。シリウスＢを見るのは少々難しく、気流が安定した夜でなければシリウスＡの明るさに埋もれてしまい、見ることが出来ません。2021年～2024年はシリウスＡとシリウスＢが一番離れていている時期で、約50年ぶりのシリウスＢを見るチャンスとなっています。天文台ではシリウスＢチャレンジキャンペーンを行っているので、是非ご参加下さい。

距離：約8.6光年

シリウス

月

		出	没
1日	● 新月	06:59	16:22
8日	◐ 上弦	09:59	--:--
17日	○ 満月	17:20	07:00
24日	◑ 下弦	00:30	09:58

天文台から月を見ることができるのは3～18日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星

太陽系の外側から２番目の惑星、天王星がおひつじ座に見えています。淡いグリーン色が特徴で、小さく見えますが、直径は地球の約4倍もあります。自転軸がほぼ横倒しになっているのも大きな特徴です。

太陽からの距離：約29億km

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

M82（銀河）

おおぐま座に位置する銀河で、低倍率では近くにあるM81と同一視野に見ることができます。スターバースト銀河と呼ばれる、非常に活発な星形成が行われている銀河です。

距離：約1200万光年

M42（散光星雲）

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの４つの星（トラペジウム）が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

NGC2392（惑星状星雲）

ふたご座に位置し、毛皮のフードを被ったような姿から「エスキモー星雲」と呼ばれています。わずかに緑がかった青色が印象的で空の条件が良ければ愛称の由来となったフードのような構造も見えてきます。

距離：約1360光年

かに座ι（イオタ）（重星）

かに座の右のはさみのところに輝いている二重星で色の対比が美しいことで知られています。黄色い星とと青色の星が並んでいる、姿が印象的です。

距離：約298光年

ちょっとマニア
・M41（散開星団）

おおいぬ座に位置する散開星団です。シリウスの南4度にあり、7倍50mmの双眼鏡では、M41とシリウスを同一視野に見ることができます。シリウスＢチャレンジのついでにいかがでしょうか？

距離：約2300光年

その他おすすめ

- M1（超新星残骸）
- M44（散開星団）
- M45（散開星団）
- M67（散開星団）
- M81（銀河）
- うさぎ座Ｒ星（恒星）
- ベテルギウス（恒星）
- アルデバラン（恒星）

2・3月の銀河の森天文台カレンダー

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館時間
14:00～22:30
（4月～9月）
13:00～21:30
（10月～3月）

休館日